



## 国分寺市総合ビジョン初年度の 平成29年度一般会計・特別会計予算を可決 甲斐よしと議員に対する辞職勧告決議を可決

平成29年第1回定例会は、2月17日から3月21日までの33日間の会期で開催し、市長提出議案26件を議決しました。(結果は8頁に掲載)

2月19日には日曜議会を開催し、多くの市民の方が傍聴される中、市長の施政方針に対する各会派による代表質問を行いました。(2～5頁に掲載)



万葉花まつりの様子(西元町1-13付近)  
平成27年度(第37回)こくぶんじ写真コンクールJ-A東京むさし賞受賞作品

### 平成29年度一般会計予算を 賛成多数で可決

平成29年度当初予算案(一般会計と7つの特別会計)は、2月17日の本会議において予算特別委員会(及川妙子委員長、なおの克副委員長)を設置して同委員会に付託しました。委員会では3月6日から15日までの8日間(43時間)にわたり審査を行いました。

#### 予算編成での特色・予算の内容は

国分寺市総合ビジョンの初年度となる平成29年度予算は、一般会計が495億8,810万6千円(前年度比21.4%増)、7特別会計を合わせた総額は979億8,079万2千円(前年度比38.4%増)で、一般会計及び全会計総額とも過去最大規模となりました。主な増要因は、歳入では国分寺駅北口再開発ビル保留床処分に伴う特別会計からの繰入金増、歳出では待機児童解消に伴う保育所入所児童委託料や生活保護費等の補助費増、再開発ビル内の公益施設整備委託の増等が挙げられます。基金への積立では財政調整基金に約42億8千万円、庁舎建設資金積立基金に約21億1千万円など全体で約73億9千万円を積み増し、残高が約114億円となりました。財政の状況ではその弾力性を示す経常収支比率が90.9%と前年より2.8ポイント改善し、健全化判断比率も実質公債費比率がマイナス0.8%と初のマイナス数値になるなど数値では改善が見られるものの補助費の増加が止まらないなど依然とし

て厳しい状況との説明がありました。

#### 予算編成の基本的考え方を質す

予算編成の基本的考え方については、「扶助費の伸び等による厳しい財政状況を踏まえ、国の経済動向等を見つつ財政運営を」等、**財政フレーム**では「29年度からの扶助費の伸びを毎年1億円と見込んでいるが、28年度から29年度だけでも約9億円増えている。実態とずれはないか」「市長は民生費の予算額が11億円増え、そのうち扶助費が約9億円増えると言っているがその内訳を理解しているのか」「財政フレーム上、不足額が見込まれる年もあるがどう解消するのか」等、**基金**では「(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金への積み増しの検討を」「庁舎の建て替え費用としての基金40億円の考えは」「今後の教室の増築には学校施設整備基金を使うべき。今後の計画と基金の積み増しをきちんとすべきでは」「現在11ある基金全体のあり方を見直す時期にあるのでは」等、**国分寺駅北口再開発**では「現在工事は順調に進み、確実に年度内に不動産売り払い収入が入るのか」等、**国分寺市総合ビジョン関連**では「ビジョン実行計画の公共施設整備基金が毎年10億円だが、不測の事態にも対応できるよう積み増しが必要ではないか」「平成30年度以降に予定している総合ビジョンに係るアンケートは、市民参加のすそ野を広げることを目的の一つとして実施すべき」「市長と小池都知事との意見交換において、今後10年間人口が増加するという『人口ビジョ

ン』と違う見解が示されたがなぜか。人口ビジョンを見直すべき」等、**税関連**では「人口予測では納税義務者数が2%伸びるのに、なぜ個人市民税の伸びを0.1%と見込んでいるのか。GDPの実質成長率から堅く見込んでも1%前後ではないか」「ふるさと納税制度によって税収が1億円以上減となっている。ふるさと納税による税収減を食い止めるため、返礼品に係る還元率を見直すべき」等、**公共施設マネジメント**では「(仮称)リサイクルセンター建設事業を公共施設マネジメントとしての8億円に含めないのは、公共施設等総合管理計画と矛盾するのでは」「再配置計画、個別施設計画が策定されれば年8億円を超える可能性もあるのでは」等といった質疑がありました。

#### 歳入にかかる主な質疑

**歳入**では、**市税**に関し「隣接市と比較して都市計画税が高い。国分寺駅北口再開発完了にあわせて引き下げてはどうか」「アニメ制作会社などの企業を市内に誘致し、まちの魅力と税収向上を図ってはどうか」「市税徴収に係る経費を抑える方法も検討を」等の質疑がなされ、**その他の歳入**に関する質疑としては「市民課で行政・広告情報を映す電子掲示板設置に関し、行政としての公平・公正性を担保した適正な運用と、情報提供の拡大に向けた検討を」「市民の利便性向上の観点から公園等に自動販売機を設置してはどうか」「住民票等のコンビニ交付の利用推進を」等といった質疑がありました。

#### 歳出にかかる主な質疑

**歳出**では、**人件費**に関し「嘱託職員や臨時職員の処遇改善に係る先進的な取り組みを」「専門職嘱託職員の欠員状態解消に向けて処遇改善

次ページに続く

### シリーズ

## 国分寺市議会② 代表者会議は

国分寺市議会では、議長、委員長をはじめとする議会内の役職、各議員が所属する委員会等の議会人事や議会運営に係る事務費等を協議する場として「代表者会議」を設けています。

「代表者会議」は、正副議長、会派代表者及び無会派から選出された議員で構成されており、各定例会の前や選挙後の臨時会及び常任委員会委員の任期満了に合わせて開会されています。

地方公共団体の議会の多くには、会派

間調整の場として同様の会議が設置されていますが、議会人事等を協議する場であるため、公開されていないことが多いです(下表参照)。そのような中、国分寺市議会では、他の議会に先がけて会議を公開で開催しており、平成20年9月からは会議録も市ホームページで公開しています。

今後も市民にわかりやすい市議会を目指してまいります。

会議の公開状況(平成29年3月3日現在)

自治体	公開割合
多摩26市・ 東京23区議会	6市3区 (18%)

※会議体の名称、位置付け等は各々異なります。

## 甲斐よしと議員に対する 辞職勧告決議を可決

2月17日開催の本会議において、陳情第29-1号 酒気帯び運転議員の辞職勧告決議を求める陳情が採択されました。

これを受け、同日開催の本会議に辞職勧告決議が提出され、全員賛成で可決しました(決議文は8頁に掲載)。

と採用に努力を」等の質疑がありました。

次に費目ごとに審査し、**議会費**では「議長公務の状況を勘案して議長交際費の見直しが必要ではないか」、**総務費**では「市内業者育成の観点も踏まえた契約を」「女性職員の活躍、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、良好な職場環境整備に取り組むべき」「新庁舎建設の検討では場所など様々な検討で市民の声を聴くべき」「毎年度一般財源8億円を見込む公共建築物マネジメントから、今後の第七小学童、第九小・第十小校舎増築は外して考えるべき」「公共施設等総合管理計画を実のあるものにするためにも、個別施設計画の策定では財政面や個別状況を考慮すべき」「国分寺駅北口再開発での公益フロアに設置する自動販売機の収入は市の歳入になるよう検討を」「国分寺市イメージキャラクターぶんじほたるホッチの使用許諾契約が5年更新される。まちの魅力発信に資するよう活用方法を詰めるべき」「Lホールの使用期限を延長してはどうか」「国分寺まつりに対する東京弁護士会からの要望書への対応は市の見解を示してまとめるべき」「まちづくりセンターにおける協働は、市民と市の役割を踏まえて推進すべき」「まちの魅力発信として、国分寺の名物・名産のPRを初め、マンホールのイラスト、史跡調査体験、東京の重心、真姿の池のポワスポット化などの様々な魅力を活用してはどうか」等、**民生費**では「市長会等を通じて介護職の処遇改善に係る支援の働きかけを」「社会福祉法改正による社会福祉法人のネットワーク化にあたって市として支援を」「今年度体制整備する認知症初期集中支援チームを確実に進めるとともに、キャラバンメイト養成体制の構築を」「運転免許証自主返納高齢者へのぶんバス無料バス配付に関し、小金井警察署と連携すべき」「障害福祉計画策定におけるアンケート調査では障害児のニーズ把握を」「保育士宿舎借上げ支援事業補助金は保育士に限定せず、職種等を広げ、安心保育につなげるべき」「待機児童解消策として幼稚園の力を借りて預かり保育等を構築してはどうか」「医療費助成制度は区部と同等の制度となるよう国、東京都に働きかけを」等、**衛生費**では「健康推進モバイルサービスやブラウンバッグの配布等新規事業導入にあたりしっかり周知を」「いずみプラザ内にある調理室活用の検討を」「新規の出産・子育て応援ゆりかご事業の実施にあたっては母親に喜んでもらえる事業となるよう取り組みを」「路上喫煙禁止地区内の指導及び清掃委託は恋

ヶ窪駅周辺でも実施すべきでは」「ペットボトルの戸別収集実施に向けた積極的な検討を」「現清掃センターを解体し、リサイクルセンター等を新設する計画では、財政支出削減に向けた検討を」等、**労働費**では「過労死等を予防するためにも労働法等の情報提供と相談窓口の周知を」等、**農林費**では「こくベジプロジェクト推進にあたり」A、商工会等との連携強化を」「農業体験農園を拡充すべき」等、**商工費**では「クラウドファンディング方式により観光案内板を設置するにあたり、同方式のわかりやすい周知と、地元企業にも賛同・協力が得られるように」「観光案内ルートはペンシルロケットに係るルートなど複数検討を」等、**土木費**では「無電柱化の調査は、災害時や財政負担の軽減などの多角的視点をもって」「カーブミラー等の設置・修繕では自転車を含めた安全対策の対応を」「国分寺駅北口地下自転車駐車場整備では6千台を確保するこれまでの計画を検証するとともに、臨時自転車駐車場の契約延長を検討すべき」「総合的な公園・緑地の維持管理計画の策定は過去2年間の実態調査を踏まえて推進を」「空き家の活用では市内の情報共有とともに市民への情報提供を」「特定行政庁に係る支出は約1億円である。これを軽減するためにも複数市での事務の連携・共同化を研究すべき」等、**消防費**では「家庭での防災備蓄品の保管方法と消費期限との関係の広報を」「防災関連用地を活用し、地域の要支援者の避難を想定した防災訓練を検討すべき」等、**教育費**では「福島原発避難者へのいじめや携帯電話など通信機器によるいじめ防止に向けて継続した取り組みを」「学校の音楽活動を支援するため、市民に楽器寄附の呼びかけ実施を検討すべき」「今回の第九小、第十小学校の増築にあたっては国の補助金が見込めない。国への申請期限も含めて教育環境整備を計画的に行うべき」「中学校でも赤米を使った給食の体験を」「史跡の追加指定は機を逃さず手続きを進めるべき」「放課後子どもプランは教育部と子ども家庭部が連携し、今後のあり方自体を早急に検討すべき」「図書館の一部業務委託化は検討のスピードをあげて拡大に取り組むべき」「地域の理解を得て学校校庭・体育館の夜間開放を」等、**債務負担行為調書**では「債務負担行為は将来にわたっての財政負担である。全体をしっかりと把握し、増加抑制、財政管理すべき」等といった質疑がありました。

#### 一般会計は賛成多数で可決

委員会では、採決の結果、賛成多数で可決し、

21日開催の本会議では、各会派から討論が示され同様の結果となりました。(※一般会計予算案に対する各会派討論は5～7頁に、各議員の本会議での表決結果は8頁に掲載)

#### 特別会計予算は 3特別会計：賛成多数、 その他の特別会計：全員賛成で可決

委員会において、**国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計**では「再開発事業の借入額や今後発生する再開発ビルの管理費や修繕費等を見込んだ市の負担等の積算を」「一時借入金の根拠は何か」等、**地域バス運行事業特別会計**では利便性の向上に向けて「西国分寺駅北口に接続できるよう北町ルートの変更を」「北町ルートバスの増設を」「各地域バスの乗り継ぎができるシステムの導入を」「高齢者が病院や施設を利用する観点からのバス停の見直しを」等、**介護保険特別会計**では「介護予防サービスの計画は、当初29年度から総合事業を開始予定だったが、急きょ28年度からの開始に計画変更した。これに伴って29年度の計画額の精査がしっかりできていないのではないか」「計画策定のためのアンケートは民間事業者に委託し、郵送で個人情報収集しているが、この調査のやり方は問題ではないか」「計画策定のために個人名等の収集が必要なのか」「ニーズ調査の質問は多岐にわたるので調査に協力してもらうためにも使用目的を明確に伝えられるよう丁寧な対応を」等、**後期高齢者医療特別会計**では「国の制度改正による保険料の軽減特例の廃止によって高齢者への負担増が懸念される」等といった質疑がありました。

本会議では、**国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計**は「財政負担の大きい本事業の早期完了とビル敷地の売却益を市民生活に活用すべき」等の反対討論のち賛成多数で可決。**介護保険特別会計**も「介護準備基金の過大な積み増しの原因は、地域支援事業を含む給付費の過大見込みにある。そのような算定に基づく保険料を高齢者等に求める介護保険運営は許されない」等の反対討論のち賛成多数で可決。**後期高齢者医療特別会計**についても「保険料の所得割額の特例軽減が廃止されるに伴い高齢者等への負担増を求める政策をとるべきでない」との反対討論のち賛成多数で可決しました。

その他の会計は全員賛成で可決しました。

市政を  
問

## 平成29年 第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問が行われた順番で掲載しています

### 続投で将来に負担先送りにしない市政運営を！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

#### ▼市政運営に当たっての基本姿勢

【吉田】例年「財政」から始まる施政方針であったが、本年は「市民の生命と財産を守る」から触れた心情は如何に？

【市長】就任以来、12万人市民の生命と財産を守る重責を痛感しつつ市政運営してきた。全国的な自然災害の増加など直面する課題に対し、

防災力の強化や財政基盤の確立に努める。

#### ▼新庁舎建設について

【吉田】市役所の庁舎は市民の集う場であると同時に、時には災害本部たる機能をも果たすべき重要施設である。東日本大震災後、耐震問題で取り壊した後、現在の仮庁舎は5年を経過しており市民からは早期新設を切望されている。

【市長】首都直下型地震への懸念、市民の利便性早期復活の為にも、華美でなく強固な防災拠点の中心たる新庁舎の建設に取り組んでいく。

#### ▼まちの魅力発信を推進

【吉田】テレビ番組「長つと散歩」に出演され、番組を通じて市民と触れ合い、新たな国分寺市の魅力を発見したものと拝察。その魅力を引き出すとともに、引き続き様々な媒体を活用しな

がら市のPRに努めて載きたいが如何か。

【市長】JR国分寺駅内の改札近傍床に市の鳥「カワセミ」や「七重塔」など4種類の絵柄を使ったタイルを敷いた。また、中央線の国分寺駅と西国分寺駅、武蔵野線の西国分寺駅の発車メロディが「国分寺市の歌」他国分寺市にゆかりの曲が流れる。併せて、マスコミ、市報やホームページ、SNS等様々な媒体を活用する。

#### ▼商農工業の振興について

【吉田】国分寺市内に鉄道駅が3つもあり、地域産業を発展させる為の「賑わい」が不可欠。個々の店舗や企業が持つ魅力をもっと多くの方々に知って戴く工夫も必要。一方、3年目の「こくベジ」事業は、若手生産者や若手事業主のご  
次ページに続く▶

苦勞で年々知名度も向上している。農業者と商業者と市民と行政とが手を携え一致団結してオール国分寺産業たる施策を産み出すことで「賑わい」を創出すると考えるが如何か？

**【市長】** 消費者が身近にいる都市農業の特性、直売所等を通じ生産者の顔が見える国分寺農業の強みを活かし、生産から流通・販売・消費に至るサイクルへの工夫など、地産地消を推進する取組を拡大させていくことが必要と考える。

#### ▼健康づくり

**【吉田】** 「ターゲット・バードゴルフ」というスポーツがある、本来は打数の少なさを競うスポーツだが、メンバーの親睦と健康増進を目的とした生涯レクリエーションスポーツという側面もある。健康づくりはスポーツ振興と相俟って重要施策である点、市長の見解を伺う。

**【市長】** 健康づくりにはスポーツなど身体を動かし、人とのふれあい、つながりがとても重要と考える。スポーツ振興と互いに働きかけあって進めていくべきものと認識している。

#### ▼障害者福祉

**【吉田】** 障害者差別解消法施行の折、役所においては合理的配慮の実行が義務付けられた。新年度において職員を対象とした差別解消推進対応要領を策定することだが、マニュアルに頼ることなく対応できる職員教育をお願いする。

**【市長】** 障害者への対応は、その障害の種別や本人の状況に応じた配慮が必要であり、画一的な対応では不十分。職員が法の趣旨に則った柔軟な対応が図れるよう継続して周知・啓発する。

#### ▼交通安全と防災防犯

**【吉田】** 国分寺市交通安全計画の策定、機構改革で安全対策を専門に所管する部署の新設と、免許証を自主返納した高齢者に対して、ぶんバスの無料パスを発行される事業については、大いに歓迎する。更に、自治会・町内会管理の街灯LED化補助に加え立替払い改善されたい。

**【市長】** 4月1日に交通対策課を新設する。今後、所轄警察署等とも協力をし「交通安全講話」「自転車の交通安全教室」を開催する。LEDへの交換は一時的とはいえ自治会の負担増が見込まれ、申請時期や支払方法等を含めて検討を行う。※この他、●公共施設等マネジメント●財政の健全化●職員の確保、育成●子育て・教育●スポーツ振興●高齢者福祉等について質疑しましたが、紙面の都合上割愛しました。

## 将来世代に向けて、人への投資を !!



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

◎私たちの会派は井澤市政に対し、良いことは良い、改善が必要な点は厳しく質していくという、是々非々のスタンスで取り組んでおります。

### 映像配信について



平成29年第1回定例会の本会議で行われた代表質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第2回定例会一般質問のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご利用ください。



本会議の動画配信QRコード

### 「日曜議会」を開催

今定例会の初日（2月17日）に、市長から施政方針が示され、それに対する各会派からの代表質問を2月19日（日）に行いました。

当日は多くの市民の方が来場され、議会を傍聴されました。

国分寺市議会では、今後も「日曜議会」の開催を継続し、「開かれた議会」となるよう取り組んでまいります。

### 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成29年第2回定例会は、5月10日（水）から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

#### 市長任期4年間の総括について

だて) 市長任期も残りわずかとなり、次期に向けた意思表示をされておられるが、この約4年の総括はキッチリとすべきである。この間に実行できなかった、思うように進まなかった事は何か。**次期に向けての課題**について考えを伺う。**市長** 公共施設の整備など解決すべき問題は多い。特に**西国分寺駅東口の開設、スポーツ施設の拡充**については、まだ手がついていない状況であり、努力を続けていく。

#### 財政と基金（市の貯金）について

だて) 国分寺駅北口再開発の関係で入るお金などから、**70億円以上**を基金としたことは評価をする。災害などの緊急時や、保育所整備、増加する生活保護などの民生費を見越した長期的視点の中で、安易に基金を取り崩すことなく、更に堅実な財政運営を求める。

**市長** 基金の積み増しで弾力性を確保し、将来にわたって、**安全で堅実な財政運営**を心掛ける。増加する医療費などの抑制につながる健康的な環境整備にも努めていく。

#### 新庁舎建設はバランス感をもって検討を

だて) 防災面、使い勝手の悪さなど、現庁舎の問題点は共有するところであり、新庁舎建設は喫緊の課題であると考え。巨額の建設費によって、**他の市民サービスが抑制されぬよう、また将来世代との負担の平準化**なども考慮して頂きながら、バランス感を持った検討を求める。

**市長** 多くの市民から意見を頂きながら、**防災面や、機能性**を重視した庁舎を検討していく。建設の時期や手法は効率性を追求していきたい。

#### 保育所問題、どう責任を果たしていくのか

だて) 保育所整備への市の努力は認めるが、待機児ゼロには程遠い状況である。保育園に入れないことで、**人生設計の変更を余儀なくされている方々の悲痛な声を受け、市長としてどのように責任を果たしていくのか**、見解を伺う。

**市長** 子どもは社会の宝であり、健やかに育てもらうため、妊娠期からの切れ目ない支援環境の整備を図っていく。保育所定員は目標に沿って増やしているが、更に増加する需要に追いついていない。財政面、用地の問題など東京都と協力しながら進めていく。

#### 「貧困の連鎖」を断ち切るための教育支援を

だて) ひとり親家庭の子どもたちを取り巻く大きな課題は**教育環境の格差**である。バウチャーなど、用途を限定した形での教育費支援の導入を検討して頂きたい。**将来世代への投資**を求め。

**市長** ひとり親家庭への支援は取り組みを進めている。バウチャー制度については、以前頂いた提案も踏まえ、研究を行っている。

#### 障がい者の社会参加がまちの魅力になる

だて) 国分寺駅北口再開発ビル5階に予定されている市のスペースにおいて、カフェを設置する方針との事だが、その運営を本多公民館などのように、障がい者団体をお願いしてはどうか。障がい者の社会参加を促進し、当市の魅力発信

にもつながると考え、会派として提案する。

**市長** 市としては民間事業者を前提に検討を進めているところであるが、提案として承る。

#### 新学習指導要領による学校教育について

だて) 2月に次期学習指導要領案が公表され、この先、小・中学校教育に大きな変化が生じる。新しく導入される**アクティブラーニングや英語教育の拡大**など、特に教える側に越えなくてはならない課題が多くあると考えるがどのように準備を進めていくか見解を伺う。

**教育長** 時代の変化に子どもたちが対応できる力をつけるための改訂と認識している。アクティブラーニングやプログラミング教育のように全く新しいものもあり、教師の研修等を十分に行いながら準備を進めていく。

#### 情報公開・市民参加について

だて) **国分寺市の憲法である自治基本条例**の精神に基づいて、市民参加や情報公開など、開かれた市政をどのように構築するか見解を伺う。

**市長** **市民の知りたい情報はすべて提供していきたい**。引き続き、市民・事業者等とともに市政運営を続けていく。

## 長期的な視点に立ち 堅実な市政運営を求める



公明党 さの 久美子

#### 【公共施設等マネジメントについて】

問) 市内の公共施設等の老朽化が進む中、**公共施設等総合管理計画**を遅滞なく進めることは市財政にとって重要である。市長の決意を伺う。

**市長** 財政の負担も考えながら、計画的に効率的に、多様化に向けて計画を実行したい。

#### 【財政について】

問) 予算が過去最大規模となった要因は、駅北口再開発事業の保留床処分金であるが、財政調整基金に約43億円、その他の基金も大幅に積み増しができることは評価したい。今年の財源収入は一過性のものであり、市が抱える課題解決に当たり、今後の財源確保をどう考えるのか。

**市長** 規律ある財政運営を行いたい。社会保障費の増大が一番の課題だが、計画的に進めるように頑張り、基金の充実を図っていきたい。

#### 【職員の育成について】

問) 職員の成長が市政運営の鍵。人材育成、人材確保をしつつ、働き方改革をどう進めるか。

**市長** 超過勤務の削減を進め、職員相互間で職務の代替をできるような仕組み作りをしたい。

#### 【妊娠・出産・乳幼児支援について】

問) 国分寺版ネウボラとなる出産、子育て応援ゆりかご・こくぶんじ事業がよいよ開始され、産後うつ対策として期待される。進め方は。

**市長** 妊娠・出産にかけて女性の不安を解消させたい。

次ページに続く▶

せる動機付けの施策。育児パッケージは受け取る側の気持ちを優先した物を提供したい。

#### 【子育て環境整備について】

問) 保育園待機児童解消にまで追いつかない。努力は評価した上で、待機児の多い「0、1、2歳」対応について今後の見通しを伺いたい。  
市長) 新規、既存の保育園にご協力いただき、3歳の壁も含め連携するよう努力したい。

#### 【子育て支援サービスについて】

問) 義務教育就学時医療費助成制度の小学校3年生までの所得制限撤廃を高く評価したい。  
市長) 今後できるだけ進めていきたい。

#### 【図書館について】

問) 図書館の一部業務委託が予定より遅れている。スケジュール感をもって進めるべき。  
教育長) 光図書館は好評だと考えている。恋ヶ窪、並木、もともちは平成30年実施をめざす。

#### 【健康づくりについて】

問) モバイルサービスを利用した健康増進情報発信事業がスタートすることを評価する。健康診断受診率の低い若者層への活用も可能では。  
市長) 来年度からの早期実施に向けて努力する。

#### 【高齢者福祉について】

問) 認知症対策の推進、在宅医療・介護連携相談窓口の設置を評価する。スケジュールは。  
市長) 医師会の協力を得て、10月開設めざす。

#### 【障がい者施策について】

問) 西武鉄道国分寺線、多摩湖線、国分寺駅のホームドア設置及び恋ヶ窪駅の内方線つき点状ブロック設置への積極的な対応を評価したい。スケジュールを伺う。大きな財政支出も伴うが鉄道事業者と連携して万全な対応を求めたい。  
市長) 従来から西武、JRにもお願いしてきた経緯がある。市の負担は6分の1、平成29年度は予算化していないが、積極的に参加したい。

#### 【ごみの減量・資源化について】

問) 燃やせるごみの総量が多摩地域で2番目に少ないという結果は市民の努力の成果であり感謝すべき。更なる減量施策として、循環型社会をめざし「食品ロスの削減」も有効と考える。  
市長) 市民に感謝したい。フードロスの啓発をし、環境まつりでフードドライブも行いたい。

#### 【交通安全について】

問) ぶんバス万葉・けやきルートが順調にスタートした。まちの活性化のために、ぶんバスの果たす役割は大きくなるが、既存ルートが多くの方にご利用いただけるように努力願いたい。  
市長) 6路線、たくさん利用していただけるよう努力し、高齢者の足となるようにしたい。

#### 【防災について】

問) 女性の視点を取り入れた防災対策の拡充のためにも女性版「東京防災」を活用すべき。  
市長) 女性の視点は必要。市民に広報していく。

#### 【行政改革について】

問) 遂行には職員の力量が問われる。決意を。  
市長) レベルアップを図りながら進めたい。

なると考えるが、市長の見解を伺う。市長人を大切にしたいは一貫して通じるものである。市民や市に関わる人が、住んでいて良かったと思えるまちにしていきたい。子どもから高齢者まで、きめ細かな施策を展開していきたい。

●新庁舎の検討は、公共施設マネジメントと一体的に進める必要があると考えるが、新庁舎建設に向けたスケジュールと市民参加の手法は？  
市長) 庁舎の位置も含めて、多くの市民の意見を聞きながら慎重にすすめていく。市民参加の手法の検討もH29年度に入ってから行っていく。

●市民活動センターの充実について、これまでも支援の専門性や先駆性といった観点からNPOとの協働など、センター運営のあり方を提案してきた。現在の市民活動センターは、国分寺駅からは近いがビルの4階にあり、場所がわかりにくく入りづらさが否めない。北口再開発完了に合わせた場所の移転や、まちづくりセンター・(仮)緑の情報センターと合わせ、それぞれの機能が発揮でき、新たな可能性が見いだせるような一体的な整備と運営のあり方についての総合的な検討を。市長) センターは発展させていきたい。場所や一体的な運営形態は研究する。

●妊娠期からの切れ目のない支援について、母子手帳交付時に専門職が妊婦と面接し、必要な支援プランを作成するゆりかご事業のスタートは大きな前進である。事業をすすめる中で健康推進課と子育て相談室の更なる連携を要望する。また、妊産婦に支給される子育て支援の物品は、子育てに必要なサービス利用も含める等、利用者のニーズに合った制度にすべき。市長) 市内連携は今後とも強めていく。子育て支援の物品支給は、先駆的な取り組みを参考にして検討する。

●学童保育所について、全員入所を前提に小6までの受入も含めた定員拡充と、質の維持向上は？  
市長) 定員拡充はできる限りやっつけていかなければならない。また、合同事業や研修等でノウハウを共有しながら保育の質を高めていきたい。

●4年生の長期休暇中の受け入れや年末保育の実施等、民設民営学童保育の弾力的な運用を。

●放課後子どもプランとの連携、総合プラン実施に向けた展望は？  
教育長) 学童保育所の狭隘と学校施設の利用は市の大きな課題である。教育部と子ども家庭部で昨年協議し、課題と成果等出ている。できる限り学校施設を共有していく。

●外国にルーツのある子どもたちが、自国の伝統や文化に誇りを持ち続けられるような取り組みを。  
教育長) 国際理解教育で異文化理解、異文化との共生を進める事業を推進していきたい。

●就学援助費の入学準備金の増額と中1の入学前支給は、子どもの貧困対策としても大きな前進である。今後は小1への検討を。また、制服や学用品等の保護者負担の実態を確認し、負担軽減の工夫等、検討を。  
教育長) 学校納付金調査の結果を精査し、今後の行政に生かしていく。

●戦争体験映像記録の作成については、戦争や被爆体験を次世代につなぐ取り組みとして、期待するものである。子どもや若者が作成に関われるような検討を。  
市長) 研究してまいりたい。

●障がいのある人の地域での生活支援の具体的な方策は？  
親亡き後を見据えた支援策と地域でのネットワークづくりを要望する。  
市長) 相談支

援と、地域自立支援協議会の充実に努めていく。

●空き家バンクの運用が開始されるが、まちづくりの視点や、自治会・町内会の活動支援とも連携し、地域コミュニティ活性化につながる取り組みを市長) 利活用にもついで進めていきたい。

●交通安全計画の策定にあたっては、見守りをされている方など現場をよく知っている市民の意見を聞きながら進めていただきたい。また、教育委員会とも十分連携すべき市長) そのように進めていく。  
教育長) 積極的に関わっていただきたい。

●オープナーの活用や情報公開制度の充実とは？  
市長) オープナーでの行政資料の配架基準の作成や、配架資料一覧のHP等による公表の準備を進めている。情報公開サイトの周知もはかる。

## 真の市民自治の実現で、 くらし第一の市政へ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆議会制民主主義・二代表制◆が問われている。昨年12月議会・一般質問で市長は答弁拒否を行ったが、二度とすべきでない。

市長) 部長や副市長と意見は一致している。代表質問は私が、一般質問は他の人間で答える。

幸野) 一般質問は本会議の場だ。部長や副市長が市長の考えをすべて分かっているなら市長はいらぬことになる。市長が答弁拒否をするなら二代表制は成り立たない。

幸野) ◆総合ビジョン◆は市民とともに策定すべきだ。4年前の市長の所信表明・代表質問では「自治基本条例と日本国憲法を守る」としていたが、その基本理念が国分寺市ビジョンから削除されている。主権者市民の立場に立ち、真の市民自治を実現させるビジョンにすべきだ。

市長) 私は削ったわけではない。日本国憲法と自治基本条例は踏まえているビジョンだ。

幸野) であるならば、具体的な政策が入る国分寺市ビジョン実行計画については、最低でも市民説明会とパブリックコメントを実施すべきだ。

市長) 予算特別委員会の時まで示す。

幸野) 結局、両方ともやらないということだ。「自治基本条例を守っている」とは到底言えない。

幸野) ◆新庁舎の建設場所◆について、市長は「2017年度中に決めたい」と言っているが言語道断だ。12万人市民に情報を提供し市民的な議論を行った上で、住民投票で決めるべきだ。

市長) 多くの方のご意見を聞いた上で進める。

幸野) ◆国分寺まつりの出店拒否問題◆東京弁護士会から人権侵害だと言われている。早急に人権を回復するために出店を認めるべきだ。

市長) 東京弁護士会からの要望を検討している。

幸野) 「自治基本条例と日本国憲法を守る」と言いながら、実際は言葉だけだ。平気で人権侵害を行う市政は大問題だ。

幸野) ◆くらし・社会保障◆を充実させる財源はある。市民生活が大変な中で、消費税の増税分が積立金に回されている。国分寺駅北口再開発の敷地一部売却益も入ってくる。これらの財源

次ページに続く▶

## 個人を尊重し、人を大事にするまちをつくる



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

●今後8年間のまちの姿を描く「国分寺市ビジョン」が4月からスタートするが、全ての市民がいきいきと自分らしく暮らせるまちの実現を願う。そのためには、基本理念にある市民、事業者等とともにまちづくりをすすめ、個人を尊重し、人を大事にするまちの描きが最も重要に

## 4月からの会派の変更について

### 会派名変更

変更前：自民党国分寺市議団

変更後：自民党新政会

### 所属変更

丸山哲平議員（前：国分寺政策市民フォーラム）が自民党新政会へ所属変更となりました。

## 会派代表者の変更について

下記のとおり会派代表者に変更がありました。

会派名：自民党新政会

代表者：尾澤しゅう

会派名：日本共産党国分寺市議団

代表者：中山ごう

を活用して①介護予防の充実や高齢者入浴事業の復活②特別養護老人ホームや老人保健施設の増設に加え③障がい者のグループホームと就労支援施設等を整備すべきだ。

**市長**「積立金があるから使え」はおかしい。安定的な財政運営にとって非常に貴重なお金だ。

**幸野**市長は「消費税は社会保障に目的化すべき」と言っていた。なのに、介護予防や高齢者福祉を削っている。介護保険料も大幅に値上げしている。予算の使い方を変えるべきだ。

**幸野**◆**保育園・学童保育・学校の教室**◆人口が増加する中で、深刻な公共施設不足を招いているが、「人口は減るから公共施設は統廃合する」としている井澤市長の責任だ。人口の増加に合わせて、保育園や学童保育所、学校の教室、スポーツ施設、公園、駐輪場を増やすべき。

**市長**人口が増えているが生産人口が増えているわけではない。高齢者が多くなる中で、財政にとって好ましい状況ではない。それに伴って高齢者施設や子ども達の施設は増やしていかなければいけない。その努力を続ける。

**幸野**◆**子育て支援**◆①子どもの医療費は18歳まで無料に②廃止された低所得世帯の高校生に支給してきた奨学金制度の復活③低所得な小中学生への就学援助制度の拡大を求める。消費税の財源はこういう政策にこそ使うべき。

**市長**財政規律を守っていかなければ後世にツケを残すことになる。責任ある立場でそういうことは申し上げられない。

**幸野**◆**環境とバリアフリー**◆を重視したまちへ。21世紀は環境の世紀だ。ところが来年度か

ら「環境部」を廃止して「建設環境部」と「まちづくり部」に再編する予定だ。21世紀に入り「環境部」を廃止する自治体は国分寺市だけではないか。独立した「環境部」に戻すべき

**市長**環境部と建設部を一緒にすることで非常に連携がとれる。統廃合をすることで福祉の方に職員がさける。環境を軽視した訳ではない。

**幸野**西国分寺駅の東口と恋ヶ窪駅の東口の開設を求める。代表質問を通じて、4年前の所信表明が守られていないことが明らかになった。市民目線ではない井澤市政は転換するしかないことを述べて代表質問を終わる。

## 北口再開発に投じた資金が 戻る先を見据えて



無会派(無所属) 甲斐 よしと

**甲斐** 来年度予算案の目玉は国分寺北口再開発清算で保留床処分金150億円の残り135億円が歳入として見込まれる点だが、このうち61億強で、現在ある北口再開発事業の借金136億7,490万の半分弱を返済しても75億1,968万の借金が20年に渡り残る事を重く考えれば野放図には使えないが、庁舎建設基金に21億円積み根拠は？

**市長** 財政調整基金に43億積み増して60億近くにして、建設手法も建設費も積算していないが、50億円以上の建設費がかかるだろうから40億以上の基金にと積み増した。

# 一般会計予算案に対する討論の要旨

3月21日の本会議で平成29年度一般会計予算案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番で掲載しています。

## 賛成討論

### 北口再開発完成により 財政基盤の強化に成功



新海 栄一

自民党国分寺市議団

平成29年度一般会計予算は、国分寺史上最高の495億8,810万円が計上されており、特別会計と合わせると総額979億8,079万円の大型予算となっている。一般会計では前年度に比べて21.4%の増、総額では38.4%の増となっている。

**北口再開発の成功で各種基金、福祉予算が充実**

予算規模が大きくなった要因は、平成30年3月完成予定の国分寺駅北口再開発ビルの保留床処分が成功したことで、処分金150億円(保証金15億円は入金済み)が今年度入金されることによる。これにより財政調整基金の約43億円をはじめ、各種基金に合計74億円が積み立てられ未来への備えが計られている。北口再開発の成功は29年度の事業にも大きく反映され、お年寄り、子供達やお母さん方、障害を持った方々などに対する福祉予算は全予算の48%に達しており、大変思いやりのある充実した内容となっていることを高く評価したい。

**再開発は防災都市づくりを目指してスタート**

国分寺駅北口再開発事業は昭和54年3月、当時の塩谷市長によって、防災都市づくり構想公共施設整備構想、駅周辺土地利用構想をはじめとする6つの構想を柱とした「国分寺駅周辺整備基本構想」が作成されたことにより正式に開

始された。その後この構想は本多市長に受け継がれて実現に向けての交渉が進められた。

**反対派の市長当選で混迷をきわめ大幅な遅れ**

北口再開発の完成が40年もの長きにわたった最大の原因は、平成9年の市長選挙において再開反対を公約にかかげた山崎市長が誕生したことにある。これにより再開は一時中断され、大きな遅れが生じるようになった。再開の遅れは商業活動を低下させ、市内消費者の流出率は70%を越し、周辺の空き地の未利用による損失を含めると、年間300億円近くの経済損失が発生していた。この経済損失は毎年の国分寺市財政を苦しめ、北口再開の遅れは福祉、教育、道路整備をはじめとする諸施設への大きなマイナス要因となっていた。山崎市長は結局は再開反対の公約を撤回したが、一時中断の影響は極めて大きく、再開は難航することになる。

**星野、井澤市長により大きく前進完成を目指す**

山崎市長の後を受けて誕生した星野市長は、難航していた北口再開を進めるため、再開ビルと駅前広場を入れ替えるという大胆な計画変更を行い、さらに時代の流れと共に、再開ビルは商業主体から住宅主体の高層ビルへと変更され、市長も井澤市長に交代し、完成に向けて着々と建設が進められている。

**井澤市長による充実した福祉政策を高く評価**

あらためて29年度予算を見ると、老人医療費、心身障害者福祉費、児童保育費、学校施設整備費など福祉、教育関係の多くの施策で大幅な増額が計られ、充実した内容になっている。特に保育については待機児童解消のため、4月には3か所の保育所を開設、2か所の既存保育所の

甲斐) 使い途が絞られない財政調整基金に積み増段階だ。この10年間弱、北口再開のために、他事業、とりわけ公民館事業費の半減をはじめ犠牲を伴った。未来を見据えた新事業も極めて少なくしか立ち上げられていない。いわば北口再開のせいで市民が我慢をさせられてきたと言えよう。前市長期から今日まで、北口再開の拠出が他の事業、財源へ、しわ寄せを生じさせてきたと否めない事に御共感なされるか？

**市長** この事業に必要な財源は色々な意味で国分寺市の財政状況の逼迫につながっている部分は多少あったのではないかなと思う。  
**甲斐** 来年度当初予算とは言わずとしても今まで我慢させられてきた新規も含めた事業も将来を見据え充実させてゆくべきだ。また、新庁舎について昨年3月にコンサルタントに発注した「新庁舎に係る基礎調査書」がまとめられたにすぎず、今日まで市民に問う機会どころか情報発信すらなされていない。やはり市民の声を聞いて市民参加で十分な時間をかけた検討がなされるべきだ。例えば世田谷区では今後10年間かけて場所から何から何まで区民参加でゼロベースから検討してゆくことが表明されました。片や渋谷区では唐突に公会堂を含め高層計画を一方的な表明が反発を受け頓挫という報道もあった。

**市長** 現在、私の発言は庁舎を建設しなければいけないにとどまっている。多くの市民の方々の意見を聞き集約しなければというお話にとどめて、今のところ前提はありません。

拡充を進め、平成30年までにさらに1か所の開設を目指すなど、待機児童の解消に努めている。学童保育所については4月に2か所を開設、さらに七小敷地内にも開設予定。障害者対策では視覚障害者の駅ホームでの転落事故を防ぐため、西武鉄道の協力を得て国分寺駅にホームドアの設置を目指す。学校整備ではエアコンの設置が4校、トイレの改修が3校で進められ、二中の外壁、屋上防水工事、九小、十小の増築工事も実施される。防災対策では防災用品や防災備蓄医薬品の整備、拡充が計られている。高齢者の自動車事故を未然に防止するため、運転免許証を自主返納する高齢者に対して、ぶんバスの無料パスを支給する新たな事業も開始される等、多くの施策を着実に実現できる充実した予算であると高く評価して賛成討論とする。

## 賛成討論

### 長期計画初年度一 次なる時代の新予算に期待



木村 徳

国分寺政策市民フォーラム

10年ぶりの長期構想・長期計画初年度の予算という位置づけになる29年度予算は一般会計で約495億円と、表面上史上最高額となっているがその内、135億円が国分寺駅北口再開に関わる保留床処分金としての臨時的歳入であり、その額を差し引けば実質的には約360億円の予算で、これは10年以上前の規模に相当し、非常

次ページに続く▶

にコンパクトな予算と言える。

人口減少社会の中で国分寺市はまだ人口微増ながらも、長期的には市税増収は想定しづらく、こうしたコンパクトな規模で予算措置を講じることが問われた予算案となった。

保留床処分金の内、43億8千万円が財政調整基金（市の貯金に相当）に積まれたが、今後この臨時収入をすぐに使ってしまうのではなく、本年度から始まる8か年長期計画内はもとより、9年後以降も市政運営は続くわけであり、長期的視点で捉えて活用していくことを求める。

一方、同じ保留床処分金の内約21億円が庁舎建設基金に積み増され、庁舎建設費が65～70億円と言われる中で、庁舎基金残高は40億円を超えた。今後建設計画が本格化していくと、あれもこれも、とお金をかける意見が様々出てくるのが予想されるが、40億円という積立額に甘えず、本当に必要な庁舎機能とそのための必要な金額をしっかりと判断して頂くことを求める。

扶助費については、保育園整備は市の計画上では一旦終了した形だが、今後も整備は継続的に必要になると考えられ、扶助費も増大が想定される。財政に余裕ができたとする意見もあるが一概にはそうは言えず、引き続き慎重な財政運営を求める。

職員の人材育成の観点から、29年度より統括課長ポストが新設されるが、これは将来の部長候補でもあり、しっかりと有効に機能させることを求める。

高齢者の運転免許証自主返納者に対するぶんバス無料パスの配布事業は、29年度の日玉施策の一つであるが、昨年末に万葉・けやきルートの開通により、ぶんバスルートがほぼ市内全域で整備された現在、国分寺市はそもそも道路事情が悪いこともあり、自主返納によりぶんバスを生活の足として活用して頂くことで、交通安全対策の成果に期待する。一方で、ぶんバスの特別会計としての独立性が曖昧になっている部分もあり、しっかりとした庁内検討を求める。

まちの魅力発信について、税外収入策の一環で、クラウドファンディングとして市内案内板に寄付者の名前を刻むという取り組みを行うが、現在、ふるさと納税制度により1億円以上流出している財源を更なる施策展開で食い止め、プラスに転じていくための取り組みを期待する。

現在実施中の高齢者アンケートについては、これまではない、回収に当たっての督促やそのための戸別訪問まで行うという手法はやりすぎである。何のためのアンケートで、どういう手法がよいのか、今回のことを反省材料にして今後の市実施アンケートに活かして頂きたい。

債務負担行為について、アウトソーシングとあいまって近年増加しているが、これは後年度の支出を縛るという意味では地方債と同じ性格を有しており、財政の硬直化を生んでしまう。本当に必要なものは何なのか、慎重に判断すべきだ。また、アウトソーシングの実施についても慎重に判断して頂きたい。

新たな長期ビジョンの下での最初の年度となる29年度予算の真価が問われるのは実質的には

年度開始の4月以降である。実際のお金の使われ方については今後チェックを継続していくが、国分寺市ビジョンが市や市民の方々に対して良い効果・結果を出すことを期待して29年度一般会計当初予算に賛成する。

**賛成討論**

**有事に備え市民視点に立つ堅実な財政運営を**

公明党 高橋 りょう子

初めに長期にわたる予算編成作業、資料作成に当たられた職員の皆様に感謝申し上げます。平成29年度は国分寺駅北口再開発ビルが完成する重要な年度。一般会計の予算規模に於いては再開発ビルの保留床処分に伴う歳入135億円を計上し、昨年度に比べ21%増の過去最大規模となる見通しが示された。特にこの処分金を活用し財政調整基金に42億円、公共施設整備基金に8億円、庁舎建設資金積立金に21億円と大幅な基金積み増しは財政基盤確立の判断と受け止め、高く評価し引き続き着実な推進を求める。

**市債、債務負担など将来への負担について：**公益施設事業債等により前年度より増加しているが将来にわたって必要な施設や基盤整備の為やむを得ないと考える。今後公共施設等マネジメントを進めるに当たり財源調達の借入においても借金を抑制しバランスのとれた経営が重要。将来負担の抑制を一層図られる努力を求める。

**課税徴収について：**収納率や調定額を増やす事も大事だが人件費や郵送費など実費負担がいくらかも含め今一度精査し、経費の掛からない課税徴収方法も検討すべきと考え、検討を求める。

**マイナンバーについて：**行政書類取得の手間が省け1か所で行行政サービスの手続きが完結し、災害時被災者緊急支援や情報収集といった国民の命と財産を守る大変有効な制度である。市民への正しい活用方法や理解の周知と今後は薬の処方や医療情報提供など利用事務の推進に期待する。

**待機児解消への取り組み：**民設民営保育所誘致や待機児解消への積極的な取り組みを高く評価する。今後相談窓口の環境整備や保育人材の確保など万全な体制での事業推進に期待する。

**出産・子育て応援ゆりかご事業：**妊娠期から面接でつながることが大事な事業。育児パッケージは母親本人のニーズに対応できる配慮を。7月事業開始に向け漏れの無いよう丁寧に対応を。

**乳幼児予防接種アプリの導入について：**限られた期間内に接種を勧める保護者のスケジュール管理に大変有効。受診率の低い若者への健診勧奨・情報発信も含め更なる活用の展開に期待する。

**小中学生対象の生活習慣病予防健診について：**現在結果通知は郵送だが、29年度より医師との面接指導という体制となる。成長期の児童生徒自らが生活習慣の早期認識・改善につながり成人病等リスクが回避され大いに評価する。

**婦人科検診費：**高密度乳房の患者はマンモグラフィでは乳がんが見えにくく異常なしとしか

通知されないのが現状。乳がん見逃し対策として正確な通知表現への前向きな検討を求める。**認知症対策について：**認知症対策初期チーム設置、地域支援員を地域包括支援センター6か所全ての配置を評価。見守り窓口3か所拡充の効果に期待する。高齢者が住み慣れた地域で暮らす為の仕組み作りを開始するよう求める。

**ヘルプマークの配布：**外見から判断されにくい内部障がいも含め障がい者への理解促進、周知に有効と評価する。又命を守るホームドア、内方線付き点状ブロック設置など鉄道事業者、関係機関への働きかけを引き続き強く求める。

**自転車の安全利用について：**自転車も確認できるミラーの設置、自転車専用レーン、ナビマーク、サイクルラックの機能性向上等々自転車の環境整備により安全な町づくりを求める。

**ぶんバスについて：**高齢ドライバーのブレーキ踏み間違いによる事故の抑制に資する免許証返納者へのぶんバス無料パス支給は大変有効な取り組みと評価。今後既存ルートの鉄道駅へのアクセス等工夫し乗降客の増加、利便性確保の検討を。

**最後に**予算規模が大きくなる分細やかな収支が見落とされがち。職員の皆様には基本に則り緊張感を持った事務執行とチームワークで市民の期待に応えられる様望み、賛成の討論とする。

**賛成討論**

**市民参加でまちづくりをすすめよう！**

国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

平成29年度一般会計予算は、国分寺駅北口再開発ビル保留床処分金に伴う歳入等により前年度に対して約87億円、割合では21.4%増の495億8,800万円となり、これまでより大きく増え、過去最大の予算規模となった。また、保留床処分金繰入金約75億円あったこともあり、基金については財政調整基金約42億円、公共施設整備基金約8億円、庁舎建設基金約21億円、その他含めて全体で約74億円積み増し、その結果と

次ページに続く

### 閉会中の委員会等

委員会とはなだでも傍聴できます

第1回定例会終了後、平成29年第2回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 4月6日(木) 議会運営委員会
  - 4月10日(月) 代表者会議
  - 4月13日(木) 代表者会議
  - 4月19日(水) 議会運営委員会/代表者会議
  - 4月21日(金) 代表者会議
  - 5月8日(月) 代表者会議/議会運営委員会
- 市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

\*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

### 意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。ここでは、意見書の要旨を掲載しており、全文についてはホームページに掲載しています。

意見書第1号 国3・2・8号線と国3・4・6号線の交差点の安全対策を求める意見書

東京都が整備を進めている国分寺都市計画道路3・2・8号府中所沢線(国3・2・8号線)は、多喜窪通りから国分寺都市計画道路3・4・6号小金井国分寺線(国3・4・6号線)の区間で、本年3月16日に交通開放が実施された。

この交通開放により新設された国3・2・8号線と国3・4・6号線の交差点は、通勤や通学、買い物などで多くの市民が利用している。また、この交差点の付近には国分寺市立第五小

学校があり、登下校時には学童が通行するため、特に安全対策の配慮が必要な交差点である。

交差点の安全対策としては、歩行者と車両が交錯することがなくなる「歩車分離式信号」の効果が広く認められている。

よって、国分寺市議会は、最善の信号機を交差点に設置し、歩行者が安全・安心に交差点を渡れる安全対策を講じることを求める。

して、全会計での基金残高が約119億円となっている。また、地方債未償還金残高についても平成28年度決算見込みより約64億円減少し、約296億円となったことは評価する。しかし、今年度は例年になく多額の歳入があった年であることから、今後は子育て支援や高齢者福祉など、扶助費のさらなる増加が見込まれる中では、将来世代に負担を先送りしない、中長期的な視野に立った財政運営が必須である。

平成27年度に策定された「公共施設等総合管理計画」では、今後40年間のインフラを含む公共施設等の修繕・更新コストは1,370億円と試算されている。今後、公共施設の適正再配置計画や個別施設計画を策定し、公共施設マネジメントをすすめていく上では、その裏付けとなる財政計画を立て、年度ごとの経費を具体化する必要がある。また、公共施設整備基金や学校施設整備基金など、目的に応じた基金の考え方を整理し計画的に積み増すなど、実態に即した運用を行うべきである。さらに、今後の下水道の更新に多額の経費がかかるため、基金を新たに設置するなど、将来を見通した財政運営を求める。

◆認知症初期集中支援チームが設置されるが、医療と介護の連携を強化するとともに、その後の介護サービスなどに速やかにつながる体制を整えること、また、新たに設置される在宅医療と介護の連携窓口や高齢者見守り相談窓口とも連携しながらすすめることを要望する。

◆封筒の点字対応については、障害者差別解消法の合理的配慮として、その必要性を全庁で共有化し、総合的に進めるべきと考える。また、障がい者の就労支援の観点から、点字印字については障害者優先調達推進方針の活用を求める。

◆子どもたちの居場所については、学童保育所の狭隘状況や、放課後子どもプランの担い手の減少、また、屋外では公園の整備、プレイステーションの継続性について等、様々な課題が山積している。今年度新たに発足する「子どもの居場所づくり推進協議会」での検討結果を市の施策や計画・事業に反映させるためにも、幅広く関連する市民や部署の参加が必要。庁内横断的な連携のもと、課題の早期解決を求める。

◆災害時に避難所となる小・中学校においては、トイレのみならず、ユニバーサル・デザインの視点で改修を行うことを要望する。

◆公園や緑地を市民が快適に利用できるように、公園施設の長寿命化と計画的な樹木選定や施設修繕等について定める「公園・緑地の総合的な維持管理計画」が策定される。まちづくりセンターでは2年間かけて「提供公園の遊具等の状況や利用実態等の調査」を行っているが、担当課が違うため情報共有ができていないことから、調査結果を活用することを求めた。また、協働事業で行ってきたまちづくりセンターの運営を市が担うことになるが、再度、市民力が発揮できる協働のあり方を検討することを求める。

平成29年度は、市民とともにすすめる「国分

寺市ビジョン」の初年度であり、多様な市民の参加が不可欠である。活動の担い手としての参加に加えて、市民や事業者等が、それぞれの得意分野を活かして参加できる様々なしくみを検討し、市民主体のまちづくりをすすめることを求め、賛成とする。

### 反対討論

#### 市民生活に背を向け、再び大型開発中心の予算



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

★市民生活を支える財源はある★井澤市長は4年前の所信表明で「市民の生活を守る」と言っていたが、今年の施政方針から、その言葉が削除されている。「財政が厳しい」と言っているが消費税の増税分13億円や、国分寺駅北口再開発敷地の一部売却益などにより、積立金は119億円まで増加している。しかし井澤市長は市民生活の為に、この財源を活用していない。

★高齢者・障がい者支援★の充実分はわずかしかない。介護保険料は2年前に値上げし過ぎていたために、5億円も積み立てられ、全く必要ない値上げが押し付けられている。特別養護老人ホームや老人保健施設の施設整備も進んでいない。私たちは、施設の増設で「入所待ち0」を求めるとともに、介護予防の充実、入浴事業の復活、介護保険料の引き下げを求める。

●障がい者施策についてはグループホームの増設と就労支援施設の増設を求めるとともに、バリアフリーの基本構想を整備し、ホームドアの設置、ガイドヘルパーの確保などを求める。

★子育て・教育施設★について、公共施設の統廃合計画は見直し、人口と児童数の増加に対応した施設を、抜本的に増設するよう求める。

●保育園については、本気で待機児童を解消するために、公立保育園の民営化を中止し、公立保育園の分園をつくる、保育士の確保に全力を挙げる、幼稚園との連携を強める、認証保育所の保護者への助成金の引き上げ、などを実施し、兄弟の同一保育園の入所保障や、育児休暇を取得しやすい入所条件に変更するよう求める。

●学童保育所については、市の負担は6分の1で整備することができる。13施設で、定員よりも登録児童が上回っている状況を解消し、4年生以降の受け入れも実施するために、早急に具体的な施設の整備計画の策定を求める。

●学校の教室については、自治体の基本である普通教室が不足しているのに対応が遅れているのは言語道断だ。そのせいで国の補助金4300万円がもらえない責任は極めて重大であり、市長と教育長の責任は免れない。第九小学校と第十小学校は平屋建てで計画されているが、二重投資にしないために2階建てにすべきだ。特別教室や特別支援教室にも悪影響が出ている。学校

施設全体の抜本的な増設を求める。

●子どもの貧困対策として、井澤市長が廃止した高校生の奨学資金制度の復活と、就学援助の対象者拡大、子どもの医療費助成制度を高校三年生まで拡大する財源は1億円で出来る。これらの政策こそ消費税の財源を活用すべきだ。

★今後の大型開発★として、リサイクルセンター統廃合計画に56億円（焼却施設以外）、国3・4・12号線の道路整備に70億円、新庁舎建設に65～70億円使う計画になっている。これまでも国分寺駅北口再開発にばく大な税金をつぎ込んだことが原因で、財政危機に陥り、社会保障の予算が削減され、必要な公共施設の整備が後回しにされてきた。これ以上、大型開発を優先する市政を続けるべきではない。

★まちづくり★は環境を重視したバリアフリーのまちづくりこそ進めるべきだ。西国分寺駅は北口駅前再開発ではなく、東口こそ開設すべきだ。恋ヶ窪駅の東口も開設すべき。まちづくりセンターの協働事業が縮小され、後退する懸念が強まっている。従来通りに戻すべきだ。21世紀は環境の世紀だと言われているのに、環境部を廃止するのは時代に逆行している。環境情報センターや、緑の情報センターも整備して、環境情報の発信を強化するよう求める。

★市政は12万人市民のために★行うべき。全市民に対して公平・公正に行うよう求める。

### 賛成討論

#### 北口再開発への投資が返金、今後がより重要



無会派(無所属) 甲斐 よしと

一般会計予算は国分寺駅北口再開発、保留床処分金の清算で135億の歳入を見込んでいるが、それを頼りに即、歳出予算に途わず、長期的視座にたち、基金に積み上げる姿勢は共感し、評価するものである。今後、改めて取り組みを強めることを求めさせていただくと、まず保育園待機児解消に向けて努力はなされているが、追いついていない現況をかんがみ、改めて誘致計画の前倒し、再策定を求めます。また、今年度、誘致失敗に終わった介護老人保健施設の再誘致に関しては庁内横断的な対応、とりわけ今日まで用地担当を経験した方々の知見を結集して対応し、実現させることを強く求めます。また、学校施設の改修等は改めて、今からでも国や都の補助金をより多く得られるような方途を再模索して、市財政の負担の軽減をはかるように実現できることを求めます。最後に来年度予算の執行において、また市政運営の全てにおいて、わが市の自治基本条例からわずかでも反れない市政を進めていただけることを約束していただけると信じて本予算に賛意を示したいと思います。

## 第1回定例会陳情の審議結果

第1回定例会では陳情5件を審議した結果、採択2件、継続2件、取り下げ1件となりました。

### 《採択となった陳情》

● 陳情第28-4号 国3・2・8号線と国3・4・6号線の交差点の安全対策についての意見書提出を求める陳情

● 陳情第29-1号 酒気帯び運転議員の辞職勧告決議を求める陳情

### 《継続となった陳情》

● 陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

● 陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

### 《取り下げとなった陳情》

● 陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成29年第2回定例会での委員会付託を希望する場合は5月29日(月)までに、第3回定例会(9月1日開催予定)からの審議を希望する場合は8月14日(月)までに直接議会事務局へご持参ください。

第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には新規27件の議案が市長より提出され、同意2件、可決24件、撤回1件となりました。
※太字表記の議案の表決結果は下表を参照してください。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Lists 27 proposals with their details and outcomes such as '賛成多数・可決' or '撤回'.

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの・退席があったもの）

Table showing voting status for 7 proposals across various political groups (自民党, 政策市民フォーラム, etc.) and individual council members (丸山哲平, 木村徳子, etc.).

・表決 (○=賛成 ×=反対 退=退席)
・会派名 (政策市民フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無会派(無所属))

甲斐よしと議員に対する
辞職勧告決議

「国分寺市議会では、平成28年6月23日の本会議において『甲斐よしと議員に対する問責決議』を可決した。
その後、9月7日開催の代表者会議において、甲斐よしと議員よりこれら一連の事実を

認め、謝罪がなされている。
そして、18名の連署者とともに1,310名の署名を添えて『陳情第29-1号 酒気帯び運転議員の辞職勧告決議を求める陳情』が提出され、平成29年2月17日の本会議において採択と決した。
この一連の経過によって、甲斐よしと議員の行動は、議員としての資格を欠いたものであり、決して許されるべきものではないこと

が改めて明白となった。
よって国分寺市議会は、甲斐よしと議員に対し、議会の名誉と品位を失墜せしめたことに対し、強く反省を求め、その責任をとってみずから辞職することを勧告するものである。
以上、決議する。」

平成29年2月17日
東京都国分寺市議会